学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
芸　術	美術Ⅰ	2	1	なし

使用教科書	副読本等
美術1（光村）	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教材費4000円		選択					○	

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・デッサン・構成・色彩などの美術における基礎・基本を習得します。

・さまざまな表現方法を学び、絵画・彫刻・デザインなどの作品制作に取り組みます。

2．学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	活動の様子 ワークシート 制作の様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月	オリエンテーション	美術Ⅰの学習内容について 美術とは何か	○			○	a：学習内容に関心を持ち、学習の意欲を高めている。 d：美術作品のよさや美しさを感じ取り、理解を深めている。	活動の様子 ワークシート
	【絵画】 デッサン	デッサンの基本 立方体・球・円柱 デッサン 身近なものと 手を描く	○		○		a：デッサンの基本を理解し、主体的に取り組もうとしている。 c：構図を考え、デッサンに必要な技能を身に付け、表現できている。	制作の様子 作品
6月 ～ 7月	【デザイン】 色彩	色彩の基本 明度・彩度・色相 トーン・色の対比 色彩構成 直線を使った構成 曲線を使った構成	○	○	○	○	a：色彩の基本を理解し、主体的に取り組もうとしている。 b：形や配色などを考えて、表現の構想を練っている。 c：アクリルガッシュの特性を生かし、工夫して表現している。 d：表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 作品
8月 下旬 ～ 11月	【彫刻】 時計をつくろう	時計の文字盤をデザインする 時計の制作	○	○	○	○	a：関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b：自由な発想で文字盤の構想を練っている。 c：糸のこや彫刻刀の使い方を習得し、彫り方や着色の仕方などの表現方法を工夫している。 d：よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	アイデアスケッチ 下書き 制作の様子 作品
12月	【鑑賞】 日本の美術	日本の美術について	○			○	a：日本の伝統的な表現に関心を持ち、美術文化を理解しようとしている。 d：日本美術のよさや美しさを味わっている。	ワークシート 活動の様子 発言
1月 ～ 2月	【映像メディア表現】 パラパラアニメーションをつくろう	パラパラアニメーションの制作	○	○	○	○	a：主体的に取り組もうとしている。 b：ストーリーを考えながらイメージを膨らませ、構想を練っている。 c：連続した映像として表現できている。 d：表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品